

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	161名(連結) 134名(単体)
連結子会社	ジャパン・イー・エム株式会社 和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員 (2018年6月19日現在)

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
代表取締役副社長	久保 朝 義
取締役	洞 口 秀 臣
取締役	藤 井 啓 太
取締役	森 下 博
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況 (2018年3月31日現在)

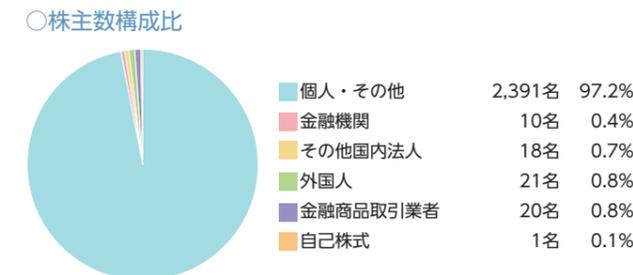
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式599,349株を含む)
株主数	2,461名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 叔生	430,060	6.68
和井田 光生	426,500	6.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	346,300	5.38
株式会社十六銀行	321,300	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	321,000	4.99
和井田 叔子	250,000	3.88
和井田製作所従業員持株会	170,800	2.65
和井田 克子	121,200	1.88
和井田 雅生	120,800	1.87
岐阜信用金庫	110,000	1.71

(注) 持株比率については、自己株式(599,349株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2018年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: http://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に記載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部
〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <http://www.waida.co.jp>



第89期 株主通信

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

大窪沼湿原 (岐阜県 白川村)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第89期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の当社グループは、国内外の好調な市場環境を背景に、受注・売上・利益ともに前期を上回る結果となりました。

引き続き市場環境は高い水準を維持しており、第90期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)は、さらに生産体制の再構築、欧米市場の攻略に積極的に取り組み業績の向上をめざしてまいります。

また、さらなる企業成長のために、次世代機種開発に積極的に取り組んでまいります。所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長
和井田 光生

第89期の概況

第89期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の当社グループは、期初受注残が少なく厳しい状況からのスタートではありましたが、第2四半期以降、受注が急回復したことを受け、売上高は前期（第88期）を上回りました。その背景となる市場環境については、地域別では国内外ともに、また、品目別でも金型関連と切削工具関連の各市場ともに好調に推移しており、当社を取り巻く幅広い分野で改善が見られました。

利益につきましても、売上増による要因以外に、従来から継続して取り組んできた利益体質改善などの効果もあり、利益率、利益額ともに前期（第88期）を上回る結果となりました。

第90期の見通し

第90期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の市場環境は、切削工具関連の需要が国内外ともに高い水準で推移しており、第89期を上回ることが見込まれます。また、金型関連においても活況ぶりに落ち着きが見られるものの、中国をはじめ引き続き高い水準にあることから、一定の需要は維持される見通しです。第89期中の急回復を受け第90期は多くの受注残を抱えてスタートしていることもあり、第90期は売上高・利益ともに第89期をさらに上回る見込みであります。

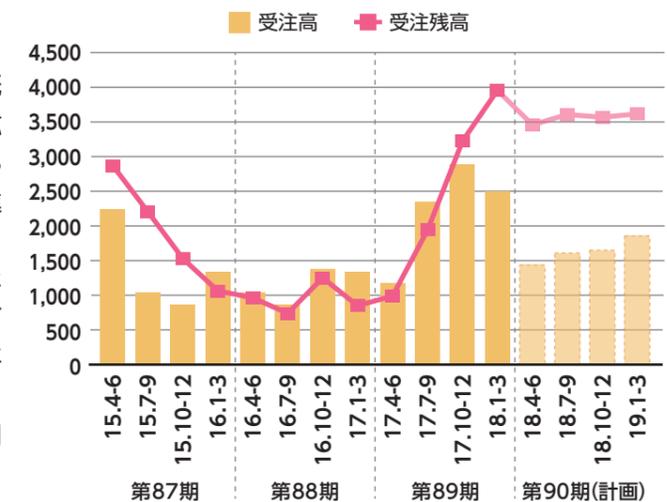
経営課題であります欧米市場の攻略につきましては、アメリカでの支店開設を受け、さらに営業強化、サービス強化を進め、北米域での受注拡大をめざしてまいります。

また、旺盛な受注に対応するため、人員増強や生産工程の抜本的な変更などの生産体制の見直しを進めており、さらなる増産に努めております。

もう一つの経営課題である新製品の展開については、既に市場投入した新機種（APX-105, GIG-202, iPG-X）の拡販を進めるとともに、本年11月に開催される「JIMTOF2018（日本国際工作機械見本市）」に向けた新機種の開発を推し進めております。

以上の市場環境と施策をふまえ、第90期通期の売上高は6,885百万円（前年同期比18.6%増）、経常利益は993百万円（前年同期比16.6%増）、当期純利益は676百万円（前年同期比14.2%増）となる見通しです。なお、配当金につきましては、第90期中間配当金は1株につき14円、第90期期末配当金は14円（年間では28円）を予定しております。

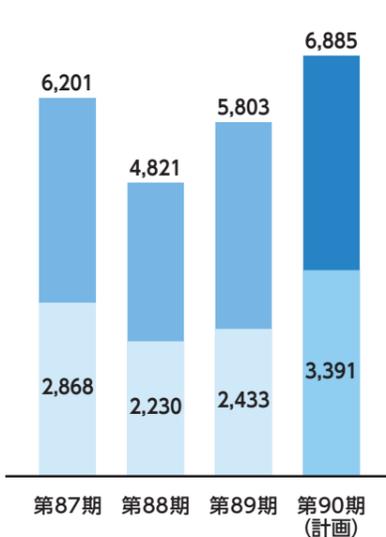
受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



業績ハイライト

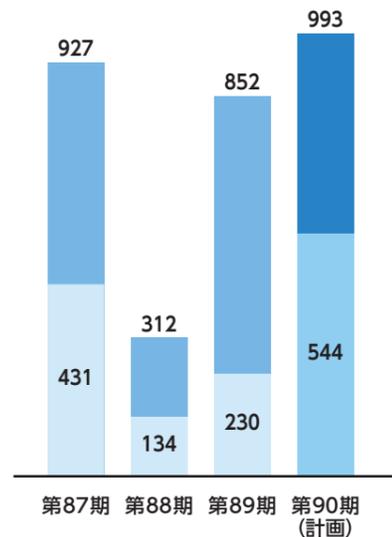
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



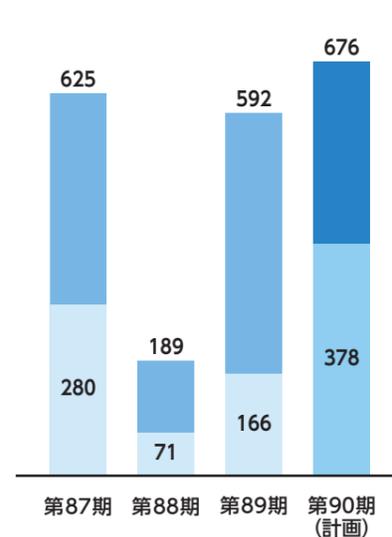
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



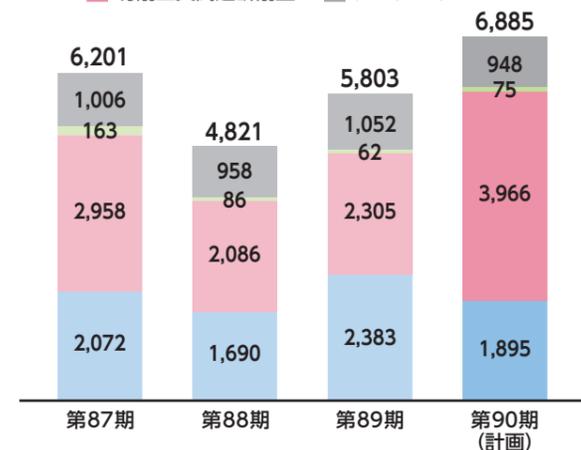
当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



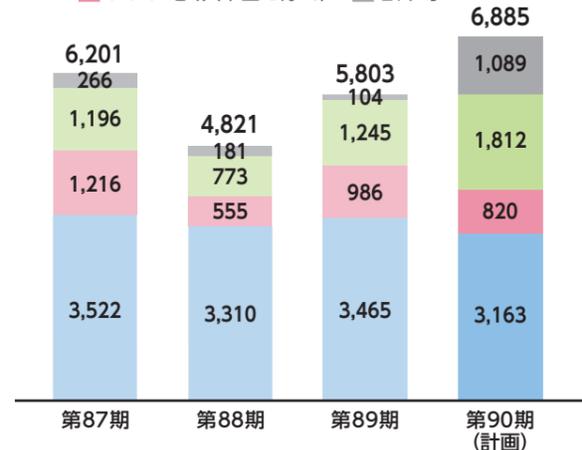
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械(新分野)
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ 中国
■ アジア地域(中国を除く) ■ 欧米等



トピックス

GrindTec 2018 に出展いたしました

2018年3月14日(水)～17日(土)にドイツのアウトスブルクで開催された「GrindTec 2018(国際研削技術見本市)」に、ドイツ Haas社との協業のもと出展いたしました。当社からは和井田会長兼社長をはじめ営業・技術者数名の参加のもと最新機種であるインサート研削盤(APX-105)を出展し、積極的に製品のアピールを行いました。前回より多くのお客様にブースにお越しいただき、WAIDAブランドが欧州地域で着実に浸透しているという手応えを得ることができました。



アメリカでの支店開設の状況について

アメリカでの支店開設を受けて、営業面、サービスサポート面での体制強化を進めております。営業面では、2018年9月にアメリカのシカゴで開催される「IMTS 2018(シカゴ国際工作機械見本市)」に出展を計画しており、支店のアピールを積極的に行ってまいります。また、サービスサポート面では、アメリカからパートナー企業の方を本社工場に招き、機械メンテナンスのトレーニングを実施するなどの取組みを進めており、引き続きサービスレベルの向上を図ってまいります。



日本国際工作機械見本市に出展いたします

2018年11月1日(木)～6日(火)に東京ビッグサイトで開催される「JIMTOF 2018(日本国際工作機械見本市)」に出展いたします。JIMTOFは「世界三大工作機械見本市」の一つと称され、隔年で開催される一大イベントです。普段目にする事の無い当社製品を間近でご覧いただくことができる絶好の機会でもございます。ぜひお越しください。

入場手続きにつきましては主催者ホームページ(www.jimtof.org)をご覧ください。



前回(2016年)出展の様子

※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。
※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。